



さとやま

今月の見どころ

深まる秋



万灯山のツリガネニンジン

残暑が厳しかった9月も、下旬には涼しい風が吹くようになり、10月になると秋らしい気候になってきます。万灯山山頂では、秋の花、ツリガネニンジンやアキノキリンソウの花が多数咲いています。「かぎ万燈」のための草刈りがなかったため、今年は咲き始めが少し早いかもしれません。また、いつもなら刈られて姿を消してしまうオケラも花を付けることができそうです。シラヤマギクの花もいつもより広い範囲で見られることでしょう。

センターのテラス前では、今年もアケビの実が食べ頃になります。炭焼き窯の近くでは、里でここしか見られない、ヨメナが群生して咲いています。稲刈りが終わった田んぼエリアでは、春のノゲシ達より淡い色のアキノノゲシが咲き、トンボの里ではミゾソバやボントクタデなどのタデの仲間が花盛りです。

ヌスビトハギなどのひっつき虫の実もいろいろ実りますので、足元に気をつけて散策しましょう。



アキノキリンソウ



オケラ



シラヤマギク



アケビ



ヨメナ



アキノノゲシ



ミゾソバ



ボントクタデ



ヌスビトハギ

里の生き物紹介

旅をする蝶

今回は、前回も少しふれた、10月頃になると毎年多数やって来る蝶、アサギマダラについて詳しくご紹介します。



この蝶は翅を広げると10センチ前後と少し大きめで、あまり羽ばたかずふわふわと飛びます。鱗粉が少ないので、翅が透けているように見えます。そのほんのりと青く見える部分の色を「浅葱色」と表現したようです。オスは、後翅に黒斑状の「性標」があることで、メスと見分けられます。

幼虫は、ガガイモ科のキジョランやイケマなどを食べ、幼虫も成虫もその食草が持つアルカロイド系の毒を体内に持っています。これらの植物は、里では見つかっていません。

移動性が強く、春に沖縄・八重山諸島や台湾などで羽化した成虫が、世代を繰り返しながら北上し、夏は本州の1000mから2000mほどの高原地帯で過ごします。秋になると、逆に南方に移動し、1000km以上も飛行することもあります。

里でも初夏に、万灯山エリアでときどき北上中の個体を見かけることがあります。

こうした生態は、1980年頃から盛んに行われるようになったマーキング調査によって明らかになってきました。近年、三ヶ根山や愛知こどもの国でもマーキング大会が行われています。

2015年には、右の写真のような個体が見つかりました。鱗粉が少ないので、翅に簡単に油性ペンでデータを書き込むことができます。



前回もご紹介しましたが、里では数年前、アサギマダラが好む花として、左の写真のように藤棚横の柿畑にフジバカマが植えられました。また駐車場上の、元小草池の工事事務所のあった場所でも見られます。

この植物は、秋の七草の1つに数えられ、万葉の時代から親しまれています。生乾きの茎葉に独特の香りがあり、薬効もあるため、生薬や匂い袋・入浴剤に利用されたりしましたが、現在は絶滅が危惧されています。



ところで、自生するフジバカマは高さが 1.5~2 mにもなり、乾燥地に弱く、花色もそれほど鮮やかではないようです。そこで、園芸店などで売られているフジバカマは、近縁のサウヒヨドリと交配されているサウフジバカマと呼ばれるものが多いようで、里に植えられているものもよく観察すると、サウフジバカマではないかと思われま



里に自生する植物で、アサギマダラが好んで訪れる花としては、万灯山エリアでよく見られるヒヨドリバナがあります。フジバカマもヒヨドリバナも同じキク科ヒヨドリバナ属の植物で、アサギマダラのオスが分泌する性ホルモンに必要な、ピロリチジンアルカロイドが摂取できるためとされています。

しかし、メスはその必要がありませんし、オスもこれらの花以外に、アザミやコセンダングサ、セイタカアワダチソウなどで吸蜜する様子が観察できます。



アザミ



コセンダング

長距離の移動をするためのエネルギーを得るには、たくさん吸蜜しなければいけません。南へ向かう旅の途中に翅を休め、里のあちこちで色々な花を訪れるアサギマダラたちをみかけたら、そっと見守ってあげてください。

9月の行事紹介



講座「ココロの通う絵手紙つくろう」を市川百合子さん講師のもと、9月27日(日)に開催しました。

当日は天気もよく秋の深まりを実感しつつ里山に画材を探しに出かけ、とても空気の美味しいことに気づかされました。倒木を輪切りにした木製キャンパスに、採ってきた草花など心を込めて描き、モノづくりに熱中した1日となりました。

10月の行事予定

※10月に開催予定の「昔ながらの稲作しよう」Ⅱ・Ⅲは、稲刈り、はぎ掛け及び脱穀は、3密によるコロナ感染の拡大を考慮して「中止」にしました。

11月の行事予定

8日(日)	万灯山へ秋のお花畑を見に行こう	20名	AM9:30~15:00	高須 桂子
-------	-----------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~秋の風情が楽しめる万灯山へ、心地よい空気の中をハイキングしませんか。

15日(日)	里山何して遊ぼう	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
--------	----------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~里山に色づいた花や木の実などを拾い集め、昔作った懐かしの遊びをします。

29日(日)	竹を切ろう	20名	AM9:30~11:30	にしお環境市民塾
--------	-------	-----	--------------	----------

◎内 容 ~トンボの里の竹林を「間引き」「枝落とし」など行い竹林整備を学びます。

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容を変更する場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆ コロナ禍の状況により講座を「中止」する場合があります。

西尾いきものふれあいの里

- ◆ ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266
- ◆ 休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4]
- ◆ 発 行 西尾市環境部 環境保全課